

政 策 提 言

(平成28年度)

提言1 定住促進対策について

提言2 生涯活躍の場づくりについて

提言3 雇用の場の確保について

提言4 福祉の充実について

平成28年10月24日

川 西 町 議 会

政策提言にあたって

地方分権が一層進む中、自治体には自己決定、自己責任が求められ、まちづくりを進めるにあたって、政策決定過程への町民参加が不可欠となっている。

また、地方自治における二元代表制の一翼を担う議会が、町政の監視牽制に加えて、政策提言を行うことが、町政の発展、町民の福祉向上にとって極めて重要である。

本議会は、自治に基づく議会運営の基本原則を定めた議会基本条例を制定し、平成25年5月に施行した。基本条例には、大きな柱として「町民参加の拡大」「政策提言」の二つを掲げ、この目的を具現化するために、町民との意見交換会を実施した。その意見等を踏まえて、これまで3回にわたり町長に対して政策提言を行い、その実現を求めたところである。

本町は、国の「まち・ひと・しごと創生法」の制定を受け、平成27年12月、5カ年計画となる「人口ビジョン」と「総合戦略」を作成するとともに、かわにし未来ビジョン（第5次総合計画）を策定し、共創のまちづくりがスタートした。

同時に「過疎地域自立促進計画」も策定し、有利な財源を確保しながら、ソフト、ハード事業の推進を目指すことになった。

本議会は、意見交換会における町民の意見を踏まえながら、総合戦略、かわにし未来ビジョンで最大の課題とされている「人口減少対策」に重点を置き4項目について、本年度の政策提言を行うものである。

町長には、本提言が議会の総意としてまとめられたものであることを認識され、施策に反映されるよう望む。

平成28年10月24日

川西町議会議長 加藤 俊一

提言1 定住促進対策について

本町では、国の「まち・ひと・しごと創生法」の制定を受け、人口ビジョン、総合戦略を平成27年12月に策定し、人口減少に歯止めをかけ、町の活性化を図ることを目指している。

特に、定住・移住の施策は即効性があり、共創のまちづくりには欠かせない政策課題である。

よって、定住促進対策について、下記の提言を行う。

- 1 交通弱者（高齢者、高校生等）の解消、買物困難者対策として、デマンドタクシー等交通手段の制度改善、利用拡大を図ること
- 2 18歳以下の医療費無料化と、義務教育に係る制服、運動着、給食等の無償化を実現すること
- 3 高齢者および移住者世帯の、除雪、排雪対策の充実を図ること
- 4 福祉、子育て、住宅、除雪、移住及び産業振興等、町が行う支援をすべて網羅した「町民生活応援ガイドブック（仮称）」を作成すること
- 5 若者の出会いの場づくりに積極的に取り組むこと

提言2 生涯活躍の場づくりについて

本町では、総合戦略の主要プロジェクトにおいて、女性が活躍するまちづくり、生涯現役のまちづくりを掲げ、また最重要プロジェクトとして公立置賜総合病院周辺の土地利用を掲げている。国が閣議決定したニッポン一億総活躍プランとも連動し、活力ある地域づくりに取り組むことが求められている。

よって、生涯活躍の場づくりについて、下記の提言を行う。

- 1 中学校の学力日本一を目指すこと
- 2 公立置賜総合病院周辺の開発促進並びに全町的な地域づくりの推進を図ること
- 3 若年層から高齢層までの幅広い労働環境の整備と拡充を図ること

提言3 雇用の場の確保について

住民生活の向上には、安定した収入が不可欠である。本町では、加工・販売にわたる農業の6次産業化が推進され、後継者も育ち始めている。

職場の確保は、若者の定着に欠かせない課題である。これまでの既存企業に対する支援を強化継続するとともに、常に情報収集に努め、新規企業の誘致開拓に取り組む必要がある。また中小企業振興条例の理念実現のための具体策を提示し、実現を目指すべきである。

よって、雇用の場の確保について、下記の提言を行う。

- 1 企業誘致を強化、継続すること
- 2 人材育成に努め、起業の支援に取り組むこと
- 3 既存事業所に対する支援と、育成に努めること
- 4 既存施設（空き校舎等）活用による、農業研修生等の受入れを図ること

提言4 福祉の充実について

住民の福祉の向上は、地方自治の主たる目的の一つであり、その範囲と種類は多様である。行政は、住民から多くの要望がある福祉の充実に取り組み、その実現が地域発展のキーポイントであると捉え、推進すべきである。

よって、福祉の充実について下記の提言を行う。

- 1 若者の住環境（住居、除雪、娯楽、公園等）の整備を図ること
- 2 SNSの活用による、子育て支援、福祉情報（電子版町報）の発信を図ること
- 3 高齢者と若者のバランスが取れた共創のまちづくりに取り組むこと